

茨城県立境特別支援学校

～ 信頼される学校づくり「不祥事0を目指して！」～

茨城県立境特別支援学校長 塩畑 道代

飲酒運転の根絶・安全運転の徹底

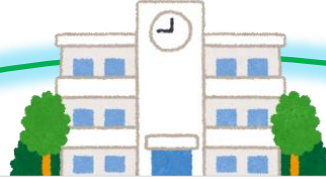
- 「飲酒に係る校内ルール」を設定・遵守
- 安全運転、交通事故防止、早期対応のための「事故対応カード」を携行

情報流出の防止

- データ送信先のメールアドレス等について管理職がチェックを徹底
- メール送信時、入力アドレスと添付データに不備がないか、職員同士でのダブルチェックを徹底
- 個人情報を含む保護者あて文書については専用の封筒を使用し、授受を記録
- 個人情報取り扱いに係る校内既定を遵守

多様な研修体制の充実

- 県教育委員会発行のコンプライアンス情報誌「One IBARAKI」の閲覧や研修動画の視聴
- 学部、学年単位でのコンプライアンス研修を実施
- 学校評議員と連携し、企業でのコンプライアンス研修を校内で活用
- 「不祥事防止のためのチェックリスト」等を活用したセルフチェックの実施



コンプライアンス推進委員会の設置

- ・各学部代表を含む多様な立場の委員により、コンプライアンス研修や現状に係る話し合いを実施
- ・コンプライアンスに係る事案について積極的な情報発信



人権意識をもった対応

- 体罰によらない指導の徹底
- 児童生徒や保護者への適切な言葉遣いの徹底
- 児童生徒や保護者の思いに寄り添った丁寧な相談対応

わいせつ事案の防止

- 「授業中のスマートフォン所持に係る校内ルール」を設定・遵守
- 職員と保護者（児童生徒）間の連絡手段を学校電話（学校携帯電話）に統一
 - *職員の個人携帯電話は使用しない
- 児童生徒との面談は、複数人の職員で対応
 - *外から見える状態を確保し、密室状態をつくらない
- 児童生徒の着替えについては、専用の更衣室を使用し、同性の職員が確認
 - *教室で更衣する場合は、カーテンやパーティション等を活用し、プライバシーを確保
- 特別教室や資料室のカギは職員室・事務室で管理し、利用者を確認

風通しの良い職場づくり

- 管理職との多様な面談を実施
- 児童生徒の事故、生徒指導、保護者からの相談等について速やかな情報共有と対応のフィードバック
- ストレスチェックを活用し、職員個々の状況を確認
- メンタルヘルスケアサポート事業を活用した研修の実施
- 職員同士の気軽に話せる関係づくりの提案